



伊藤 洋文
(よねしろ会)

肺炎ワクチンの助成と周知

質 今後、ますます高齢者の肺炎による死亡が予想されているので、肺炎予防ワクチンの「ユーモバツクス接種に助成し、周知することで医療費抑制につながるのではないか。

答 現在、国では予防接種部会を設置し、予防接種法全体の見直し作業を進めており、その中で肺炎球菌ワクチンの位置づけや接種費用のあり方も検討している。現時点では市独自の助成は難しい状況にあると考えるが、今後の国の動向を注視しながら、他の任意接種ワクチン費用助成との整合性も考慮し検討していきたい。

美術館と文化展示館のあり方

質 市民創作活動の「ふるさと文化展示館」は既設の公共施設を利活用し、身の丈にあつた施設としているが、その施設はどこへいつごろまでに完成させていくのか。

答 「ふるさと文化展示館」の施設整備について、総合計画の中で既存施設の活用を検討していくとしているが、現時点では設置時期・場所等とも白紙の状態である。今後は、検討が進められていくのを考慮しながら、施設の設置について計画していきたい。

その他の質問事項

- ・一、二中若は子ども七夕に参加を能代若を昔の立佞武多風の復活を能代港町地区の道路、側溝改良を



柳谷 渉
(市民連合)

庁舎整備

質 庁舎建設を提起する前提として市の財政事情や財源問題、財政の先行き見通しなどについて、市民に対し懇切に説明するとともに意見を聞くことが必要ではないか。

答 現庁舎のさまざまな課題を解決するための庁舎整備は、財源や後年度負担を考慮した場合、合併特例債の活用以外には実施は困難と考えております。このことを市民へ説明し、どのような整備を行なうかは、財政状況等も示して、アンケート調査や市民懇話会等により市民意向を把握し、議会の意見を伺いながら検討を進めたい。

雇用確保、産業の育成振興

質 若い人たちからは働く場がないとして、なかなか地元に定着してもらえない。当市の雇用確保や産業の育成振興、企業誘致の考え方及び取り組みなどについて伺いたい。

答 地域活性化のため、既存産業の振興と新たな産業の創出、厳しい経済動向の中でも力強さを維持できる企業誘致により、農工のバランスのとれた産業構造を構築し、雇用の確保を目指していく。これまでの基盤を活かし、引き続きさまざまな施策に取り組み、推進していくことで雇用を創出していくと考えている。

その他の質問事項

- ・集中改革プランの成果と問題点
- ・生活保護率県内最高



安岡 明雄
(市民の声)

映画いのちの山河・深沢村長の実践から

質 村民のもとへと行脚し村民と対話することで難問を解決した村長は、今日の公共のあり方を示している。庁舎の課題解決等に新しい公共の視点に立ち熟議の手法を取り入れては。

答 市民の合意形成を図り、政策を形成する上で、熟議は必要と考えるが、具体的にどう生かしていくかは、個々の課題等に応じて検討する必要がある。熟議の考え方のもと、総合計画市民協働會議においても、市民や団体、行政等がまちづくりの主体として、取り組みの改善などを話し合いながら、計画を推進している。

農業の「6次産業化」による雇用の拡大

質 提言「自分の能力とやる気を信じ農業の6次産業化・ふるさと起業にチャレンジを」がある。この分野においても働く場の創出につながる。本市の取り組み状況について伺う。

答 市では農業法人等へ農山漁村6次産業化対策事業制度の情報提供をしているが、法人等からの問い合わせは少なく、まだ農家の方々に定着していない状況と考えている。農業の6次産業化は地域産業興しの一つであり、地域内にて新たな雇用を生み出すことができる手法の一つと考え、今後取り組みを進めていきたい。

その他の質問事項

- ・「事業仕分け」研究の状況と実施
- ・新しい公共の視点に立つ取り組み
- ・新しい教育文化の創造のための熟議